

News Release



平成 28 年 7 月 25 日

業況、前期並みで推移

卸売業、サービス業が好転、不動産業は悪化

— たましん中小企業景況調査報告 V o l . 165 —

多摩信用金庫(本店:東京都立川市 理事長:八木敏郎)は、取引先中小企業の景況動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2016年6月上旬に行なった第165回中小企業景況調査の結果を『多摩けいざい』第77号にて公表しました。なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、ホームページ(<http://www.tamashin.jp>)からもご覧いただけます。

今回の調査について

1. 調査時期 2016年6月上旬(毎四半期実施)
2. 調査内容 2016年1月～3月と比較した2016年4月～6月の実績、2016年4月～6月と比較した2016年7月～9月の見通し
3. 調査方法 調査員による聞き取り調査
4. 調査対象先数 多摩信用金庫のお取引先 1,284 先
5. 回答先数 1,275 先
6. 回答率 99%
7. 回答先内訳 下表の通り

従業者規模	合計		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	415	33%	69	19%	35	32%	123	56%	90	31%	46	23%	52	55%
5～9人	283	22%	66	18%	27	25%	43	20%	57	20%	63	32%	27	28%
10～19人	223	17%	89	25%	23	21%	18	8%	31	11%	52	26%	10	11%
20～29人	105	8%	46	13%	10	9%	13	6%	23	8%	11	6%	2	2%
30～39人	58	5%	29	8%	2	2%	4	2%	15	5%	8	4%	0	0%
40～49人	42	3%	17	5%	0	0%	5	2%	12	4%	6	3%	2	2%
50～99人	92	7%	28	8%	7	6%	14	6%	34	12%	8	4%	1	1%
100人～	57	4%	17	5%	5	5%	0	0%	30	10%	4	2%	1	1%
合計	1,275	100%	361	100%	109	100%	220	100%	292	100%	198	100%	95	100%

● 今期景況調査結果の概略

《業況概況》

今期、全業種の業況判断 DI は、前期よりほぼ横ばいの▲1となりました。来期は2ポイント増加の1と、プラスに転じますが、変わらず0付近での横ばいが続く見通しです。ただし、今回の調査は英国のEU離脱決定前の6月上旬に実施されたものであり、そのため来期の業況は、見通しよりも下方修正される可能性が高いものと思われます。

		1～3月 (前期)	4～6月 (今期)	変化幅	7～9月 (見通し)	変化幅
全業種	業況	-2	-1	+1	1	+2
	売上額	2	2	0	5	+3
	収益	0	-1	-1	1	+2
製造業	業況	3	0	-3	5	+5
	売上額	5	2	-3	12	+10
	収益	-1	-2	-1	5	+7
卸売業	業況	-6	0	+6	-3	-3
	売上額	6	8	+2	6	-2
	収益	2	2	0	-1	-3
小売業	業況	-23	-24	-1	-20	+4
	売上額	-16	-19	-3	-17	+2
	収益	-15	-17	-2	-18	-1
サービス業	業況	-3	3	+6	3	0
	売上額	0	3	+3	3	0
	収益	2	1	-1	1	0
建設業	業況	15	15	0	16	+1
	施工高	19	13	-6	19	+6
	収益	8	7	-1	14	+7
不動産業	業況	5	-1	-6	0	+1
	売上額	5	13	+8	4	-9
	収益	13	6	-7	2	-4

《業種別の業況・売上高・収益》

製造業 業況は0と、前期の3から若干好調の度を弱めましたが、来期は5ポイント増加し、やや好調感を強める見通しです。売上額は2と、増加傾向を若干弱めました。来期は12と増加傾向を強める見通しです。収益は▲2と、ほぼ前期並みの傾向となりましたが、来期は7ポイント増加し、増加傾向に転じる見通しです。

卸売業 業況は6ポイント増加の0と改善しましたが、来期は▲3と再びマイナスに転じる見通しです。売上額は8と、前期とほぼ同様の増加傾向で来期も6と、ほぼ同様の傾向となる見通しです。収益については2と、前期と変わらず。来期も同様に0付近での推移が続く見通しです。

小売業 業況は前期とほぼ横ばいの▲24と、不振が続いていますが、来期は4ポイント増加し、不振感をわずかに弱める見通しです。売上額は3ポイント減少の▲19と、減少傾向を若干強めました。来期も今期と同様の減少傾向が続く見通しです。収益は▲17と、前期からほぼ横ばいの減少傾向です。

サービス業 業況は前期比6ポイント増加の3と、好調に転じました。来期も変わらず推移する見通しです。売上額は3と、わずかに上昇し、来期も同様の傾向となる見通しです。収益は今期・来期ともに1と、ほぼ横ばいの傾向が続く見通しです。

建設業 業況は15と、好調を維持しており、来期も同様に好調で推移する見通しです。施工高は増加傾向が続いていますが、6ポイント減少の13と、ややその傾向を弱めました。来期は再び増加傾向を強める見通しです。収益は7と、前期と同様の増加傾向ですが、来期は14と、増加傾向を強める見通しです。

不動産業

業況は6ポイント減少の▲1と、3期振りに不調に転じました。来期はほぼ横ばいとなる見通しです。売上額は8ポイント増加し、増加傾向をやや強めました。来期は9ポイント減少し、ほぼ前期並みの傾向に戻る見通しです。収益は7ポイント減少の6と、増加傾向をやや弱めました。来期はさらに4ポイント減少の見通しです。